

風土と 人を辿る 旅物語



有明 島原

初めてなのに、どこか懐かしい風景。海、大地、火山と共に生きている人々。有明地域と島原半島地域、海をはさんだ2つの場所を丹念にたどっていくと、ここならではの魅力がたくさん見えてきます。

自然と、そこに根付く風習・工芸・食文化・産業、衣食住、こころざし、想いなど。長い時間の中で積み重ねられてきた人々の営みが、2つの地域に独自の彩りを添えています。たくさんの人々が紡ぎだす、いくつもの営みの中から、あなたの心に響く物語がきっと見つかります。



物語の舞台は、有明・島原。紡ぐのは地元の人たち。

石炭、炭鉱と
生きた
記録を辿る物語

暮らしにいまも息づく、 炭鉱とともに生きたDNA



大牟田市 今も一部で使われている三池鉄道

荒尾市



万田坑

大牟田市



宮原坑

三池港

南島原市



口之津歴史民俗資料館・
海の資料館

食文化、まちなみ、風習。いまも残る炭鉱の記憶を探してみよう。

室町時代に石炭が「発見」されたことで、明治時代以降の大牟田、荒尾、そして南島原・口之津の運命は大きく変わった。石炭とともに大きくなったまち、石炭中心の人の営み。炭鉱は平成9年(1997年)に閉山したが、大牟田や荒尾のまちのあちこち、あるいは市民の暮らし、文化の中に炭鉱の記憶が色濃く残っている。例えば、炭鉱で働く人が疲れた体を癒やしていた甘いお菓子、手軽にお腹を満たすB級グルメ。大牟田が発祥の地といわれる「かすてら饅頭」あるいは「メロンパン」や「お好み焼」など、炭鉱で働く人々が好んだ食を、いまでも地元の人々は愛してやまない。一方、三池の石炭の積出港となり、繁栄を極めた口之津は、大正時代に役目を終えると、日本一船員が多い町になり、今でも船で働く人が多い。これも三池炭鉱がもたらした置き土産である。

今なお人々のDNAの中に残っている「炭鉱文化」を辿ること、それは世界遺産候補となっている施設の存在意義を、別の角度から眺めて実感する“もうひとつの世界遺産”探訪の旅なのである。

物語スポット

大牟田市石炭産業科学館

福岡県大牟田市神町 6-23
0944-53-2377

三池港

福岡県大牟田市新港町
0944-41-2515
(大牟田市世界遺産登録・文化財室)

宮原坑

福岡県大牟田市宮原町 1-86-3
0944-41-2515
(大牟田市世界遺産登録・文化財室)

万田坑

熊本県荒尾市原万田 200-2
0968-57-9155
(万田坑ステーション)

口之津歴史民俗資料館・ 海の資料館

長崎県南島原市口之津町甲 16 番 7
0957-86-4880

あなたの心に響く旅がきっと、ここにある。



自然、大地の教えに習って
健康になる、キレイになる



食べて健康になる薬草料理



普賢岳
新登山道

旧島原藩薬園跡



立願寺公園
(しらさぎの足湯)

温泉、運動、ヘルシー料理をたっぷり。

豊かな自然、豊かな食、温泉、この3つが揃う有明・島原は健康づくり、美容づくりにうってつけの場所。雲仙・普賢岳や小岱山には気軽にトレッキングできるルートが整備されているほか、雲仙温泉街一帯で行われているノルディックウォーキングは、まちなみや観光スポットを訪ねながらの健康づくりができる新しいアクティビティ。美と健康にぴったりの食が、島原と玉名の薬草を使った料理。玉名では複数の飲食店で「食べて健康になる薬草料理」を味わうことができる。仕上げは温泉。この地域の温泉はそれぞれに泉質が異なり、湯巡りをすれば、いろんな効能が。美肌の湯として知られている玉名温泉、島原温泉は特に切傷、火傷、慢性皮膚病に効果があり、強い酸性の雲仙温泉は殺菌効果があり、小浜温泉は塩分が多めで筋肉痛、神経痛などにいいとされている。

のんびり、ゆっくりと自然と一体となり、そして自然の恵みである温泉や食を感じる。それが、自然や大地の教えに習って、心身ともに健康になる、きれいになる現代流の湯治、有明・島原流のヘルス&ビューティーツーリズムなのだ。

物語スポット

薬草ダイニング Tanpopo
(観光ほっとプラザたまら内)
☎ 熊本県玉名市尚迫間 308
(新玉名駅内)
☎ 0968-57-9663

立願寺公園 (しらさぎの足湯)
☎ 熊本県玉名市岩崎 385-1
☎ 0968-74-2961
(玉名温泉観光旅館協同組合)

旧島原藩薬園跡
☎ 長崎県島原市小山町 4703
☎ 0957-64-5473
(島原市教育委員会)

雲仙温泉街一帯
☎ 長崎県雲仙市小浜町雲仙
☎ 0957-73-3434
(雲仙温泉観光協会)

普賢岳新登山道
☎ 長崎県雲仙市小浜町雲仙
☎ 0957-73-3434
(雲仙温泉観光協会)

十
有明海を
行き交った
宣教師たちの物語

想いをつなぐ 海のキリシタンロードを辿る



南島原市



日野江城跡

南島原市



南島原市有馬キリシタン遺産記念館



有馬セミナリヨ跡

玉名市



伊倉のキリシタン墓地

玉名歴史博物館こころピア



400年前のキリシタン文化を思い浮かべよう。

16世紀後半、九州のキリスト教布教の中心地だった南島原。日野江城下には、セミナリヨ(神学校)などが置かれ、その存在はローマ法王の耳にも届いていたという。宣教師たちはここから小舟で有明海を渡り、玉名の高瀬や伊倉へと上陸。さらに菊池川を逆上り、キリシタン大名・大友宗麟のいる大分へと向かった。「ある年、高瀬に辿り着いた宣教師を、一人の男が小屋へと案内し、宣教師たちは、竹と赤い布で祭壇を設けて粗末な礼拝堂を造った」とルイス・フロイスの「日本史」に記録されている。クリスマスには、数人の信者が有明海を渡ってきてミサを開いた。これが記録に残る日本で二番目のクリスマス・ミサと言われている。

玉名での宣教師たちの足跡は、地元でもほとんど知られていないが、一基の「キリシタン墓地」が残され、宣教師のものと言われる遺髪が保管されている。「海のキリシタンロード」を宣教師たちが確かに行き交っていたのだ。キリシタン文化が華開いた南島原や海に開かれていた玉名、そこにいた人々へと想像の翼を広げると鮮やかに400年前の風景が浮かび上がってくる。

物語スポット

有馬キリシタン遺産記念館

〒長崎県南島原市南有馬町乙1395番地
☎ 0957-85-3217

有馬セミナリヨ跡

〒長崎県南島原市北有馬町戊
☎ 0957-65-6333
(南島原ひまわり観光協会)

日野江城跡

〒長崎県南島原市北有馬町戊
☎ 0957-65-6333
(南島原ひまわり観光協会)

玉名歴史博物館こころピア

〒熊本県玉名市岩崎117
☎ 0968-74-3989

伊倉のキリシタン墓地

〒熊本県玉名市伊倉
☎ 0968-73-2222
(玉名市商工観光課)

あなたの心に響く旅がきつと、ここにある。



幸せへの願いを紡ぐパワースポット



幸せになりたい、健康でありたい。キリスト教信者たちが一心に祈りを捧げた数々のキリシタン史跡や、古くから伝わる寺社仏閣、地元の人たちが大切に守り継いできた信仰の対象、あるいは五穀豊穡、無病息災を願って行われる祭りなど、有明・島原の「願いの場・パワースポット」の“効力”はバラエティに富んでいる。心の平穏、健康、恋愛祈願、大願成就など、幸せへの願いを紡ぐ場所を巡ってみてはいかが。



日本一の干潟、宝の海 有明海とともに生きる



日本有数の干潟が広がる有明海は、魚介類が豊富に獲れる宝の海。そして干潟は、鳥たちの楽園でもある。荒尾干潟は春には数千羽におよぶ渡り鳥が飛来、ラムサール条約湿地に登録されている。また、干潟では江戸時代から大規模な干拓が行われてきた。大切な海と向き合って暮らしてきた人々や様々な生き物の営み、その中から生まれてきた文化、食を辿る旅、人と自然をつなぐ、命の物語。



ヒーロー・ヒロインたちの熱い想いに触れてみよう



名はあまり知られていなくても有明・島原の風土から生まれたヒーロー、ヒロインは数多い。夏目漱石の小説「草枕」のモデルで民権運動家、前田卓(つな)と槌(つち)の姉妹。あるいは島原の新名所・芝桜公園を自分たちで創りあげた市民など。激動の時代を切り拓こうとした人たち、自然・風土の中でまちおこし、まちづくりに尽力している人たち。そんなローカルヒーロー、ヒロインの想いの追体験へ誘う物語。



時を重ねて光かがやく暮らしの遺産たち



暮らしの中で使われてきたものが、時を重ねて輝きを見せることがある。島原市内の湧水を暮らしの中に取り入れたまち並みや屋敷、あるいは江戸時代から作られている島原手延そうめんはこの地に移住してきた小豆島出身者が伝えたもの。長洲町の金魚と鯉の養殖も江戸時代から続く地場産業。風土の中で、人の営みが産みだしたもの、あるいは人の営みそのもの。「暮らし遺産」を地域の中で探してみよう。



地球に生き、地球に生かされていることを実感しよう



日本初の「世界ジオパーク」に認定された島原半島のテーマは、「火山と人との共生」。美味しい食も温泉もすべて火山の恵みだ。一方、大牟田・荒尾の地底深くに眠る石炭も地球活動との関係が深いもの。そしていま、有明・島原地域では、環境保全、再生可能エネルギーの推進という新たな地球との対話も始まっている。火山、石炭という地球の活動をすぐ近くで体感し、そして未来に向けた地球との共存共栄の道を確認してみよう。

物語イベント

物語の世界にどっぷり浸れる
体験メニュー、イベントで主人公になろう。



1月
長洲町

干潟・海と暮らす人々の物語

破魔弓祭(的ばかい)

締め込み姿の男達が、無病息災や家内安全を願い、藁や麻で編まれた「的」を神社から有明海にかけて奪い合う、勇壮果敢な祭り。

【場所】長洲町「四王子神社」
【問】0968-78-3219(長洲町まちづくり課)

2月
玉名市

有明・島原流ヘルス&ビューティ
ツーリズム

玉名市横島町 いちごマラソン大会

いちごの出荷最盛期に開催されるこの大会。給水地点で用意されたいちごやミニトマトを味わいながら干拓地を駆け抜ける。

【場所】玉名市横島町
【問】0968-84-2122
(玉名市横島町いちごマラソン大会実行委員会事務局)

4月
上旬~下旬
島原市

志高く、ローカルヒーロー、
ヒロインの物語

しまばら芝桜まつり

雲仙・普賢岳噴火災害の被災地に市民・有志が力を合わせて創りあげた公園で開かれる。芝桜が演出する花模様は圧巻。

【場所】島原市上折橋町
【問】0957-62-3986(芝桜公園をつくる会事務局)

5~9月
荒尾市

干潟・海と暮らす人々の物語

マジック釣り体験

巢穴に毛筆を差し込み、マジックが筆を押し出したところを釣り上げる有明海の伝統漁法を体験できる。

【場所】荒尾市(荒尾漁協付近)
【問】0968-57-9155(荒尾市観光協会)

7月
下旬
大牟田市

祈り、幸せへの想いの物語

おおむた「大蛇山」まつり

大蛇山と言われる山車に人が乗り、太鼓や鐘を打ち鳴らしながら、町中を練り歩く。大牟田の夏の風物詩。

【場所】大牟田市大正町一帯
【問】0944-41-2750(大牟田市商業観光課)

8月
上旬
南関町

祈り、幸せへの想いの物語

なんかん夏祭りぎおんさん

旧南関地区の関町商店街一帯を大蛇山車が口から火花をまき散らし練り歩き、無病息災、商売繁盛を祈願する。

【場所】南関町関町商店街一帯
【問】0968-53-0120(南関町商工会)

10月
長洲町

身近な暮らしから生まれた
遺産を巡る物語

金魚と鯉の郷まつり

年に一度の金魚品評会が開催され、金魚愛好家、生産者が、自慢の金魚を披露し競い合う。

【場所】長洲町「金魚と鯉の郷広場」
【問】0968-78-3219(長洲町まちづくり課)

10月
島原市

大地、火山、地球との対話の物語

島原半島 特大ジオ・マルシェ

島原半島の特産品を一堂に集めた島原半島ジオ・マルシェの拡大版。秋の収穫祭として毎年10月に開催。

【場所】島原市平成町1-1(がまだすドーム)
【問】0957-62-0655(島原半島観光連盟)

10・11月
(予定)
玉東町

志高く、ローカルヒーロー、
ヒロインの物語

西南戦争遺跡めぐり 歴史絵巻ウォーキング大会

実際に遺跡をめぐり、西南戦争について学ぶウォーキング大会。毎年秋に開催。

【場所】玉東町内
【問】0968-85-3609(玉東町社会教育課)

11月3日
大牟田市、荒尾市

石炭、炭鉱と生きた記憶を辿る物語

大牟田・荒尾近代化遺産 一斉公開

毎年、文化の日に、国指定重要文化財・史跡の宮原坑や万田坑など近代化遺産や、普段は立ち入りが規制されている場所も公開。

【場所】大牟田市、荒尾市(宮原坑、万田坑など)
【問】0944-41-2515(大牟田市世界遺産登録・文化財室)

11月23日
玉名市

身近な暮らしから生まれた
遺産を巡る物語

大俵まつり

江戸時代から米の集積地として繁栄し、米俵の積み込みで使われていた史跡「俵ころがし」にちなみ大きな俵を転がして時間を競う祭。

【場所】玉名市岩崎、市民広場一帯
【問】0968-73-2222(玉名市大俵まつり実行委員会)

12月
上旬
南島原市

有明海を行き交った
宣教師たちの物語

フェスティビタス・ナタリス

約400年前、日本で初めて南島原市北有馬町に創設された「有馬のセミナリヨ」により伝えられたキリシタン時代のヨーロッパ文化を再現。

【場所】南島原市北有馬町
【問】050-3381-5030(南島原市企画振興課)

通年
南島原市

有明海を行き交った
宣教師たちの物語

日野江の城下町と 有馬のセミナリヨ跡を巡る

戦国大名・有馬氏の居城であった日野江城跡を中心に、天正遺跡・少年使節に選ばれた少年も通った「有馬のセミナリヨ跡」などを史実に基づいて巡る。

【場所】南島原市北有馬町
【問】0957-65-6333(南島原ひまわり観光協会)

通年
和木町

祈り、幸せへの想いの物語

八つの神様ご利益めぐり

霊験あらたかなる体にまつわる8つの神様をめぐります。ウォーキングを兼ねて歩けばさらに健康増進。ダイエットにも。

【場所】和木町
【問】0968-34-3111(和木町三加和総合支所)

通年
雲仙市

有明・島原流ヘルス&ビューティ
ツーリズム

ノルディック・ウォーク体験

2本のポール持って雲仙温泉街や隠れたスポットをウォーキング。地元インストラクターが楽しくご案内。

【場所】雲仙温泉街一帯
【問】0957-73-3434(雲仙温泉観光協会)